

授業科目 (科目ID)	情報科学Ⅲ(OT)		担当教員	山田 里見		
			(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	道内病院にて作業療法士として6年勤務	
対象年次・学期	4年・通年		必修・選択区分	必須	単位数	1単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	8	時間数	15時間
授業目的	卒業論文発表に向けたプレゼンテーション用資料(Power Point)を作成する。卒業論文の内容を効果的に伝えられるようなスライド作成方法を学ぶ。卒業論文発表会に作成したスライドを利用し、内容を聴講者に伝える。					
到達目標	卒業論文発表に向けたプレゼンテーション資料の作成からスライド作成方法に関する知識を有するようになる。					
テキスト・参考図書等	配布プリント					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	卒論提出および卒論発表内容			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	60%				
	その他	40%				
履修上の留意事項	卒業後もMicrosoft PowerPointを使用したスライド作成機会が多くあります。分かりやすいプレゼンテーションのポイントを理解し、卒業論文発表資料作成の過程を今後活かして下さい。					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	卒業論文用のスライド作成、卒業論文発表会	Microsoft Power Pointを使用し、卒業論文用のスライド作成を行う。卒業論文発表会の規定時間に適した内容にスライドをまとめる。卒業論文発表会にて、聴講者へ分かりやすく内容を伝える。			
	2	卒業論文用のスライド作成、卒業論文発表会	Microsoft Power Pointを使用し、卒業論文用のスライド作成を行う。卒業論文発表会の規定時間に適した内容にスライドをまとめる。卒業論文発表会にて、聴講者へ分かりやすく内容を伝える。			
	3	卒業論文用のスライド作成、卒業論文発表会	Microsoft Power Pointを使用し、卒業論文用のスライド作成を行う。卒業論文発表会の規定時間に適した内容にスライドをまとめる。卒業論文発表会にて、聴講者へ分かりやすく内容を伝える。			
	4	卒業論文用のスライド作成、卒業論文発表会	Microsoft Power Pointを使用し、卒業論文用のスライド作成を行う。卒業論文発表会の規定時間に適した内容にスライドをまとめる。卒業論文発表会にて、聴講者へ分かりやすく内容を伝える。			
	5	卒業論文用のスライド作成、卒業論文発表会	Microsoft Power Pointを使用し、卒業論文用のスライド作成を行う。卒業論文発表会の規定時間に適した内容にスライドをまとめる。卒業論文発表会にて、聴講者へ分かりやすく内容を伝える。			
	6	卒業論文用のスライド作成、卒業論文発表会	Microsoft Power Pointを使用し、卒業論文用のスライド作成を行う。卒業論文発表会の規定時間に適した内容にスライドをまとめる。卒業論文発表会にて、聴講者へ分かりやすく内容を伝える。			
	7	卒業論文用のスライド作成、卒業論文発表会	Microsoft Power Pointを使用し、卒業論文用のスライド作成を行う。卒業論文発表会の規定時間に適した内容にスライドをまとめる。卒業論文発表会にて、聴講者へ分かりやすく内容を伝える。			
	8	卒業論文用のスライド作成、卒業論文発表会	Microsoft Power Pointを使用し、卒業論文用のスライド作成を行う。卒業論文発表会の規定時間に適した内容にスライドをまとめる。卒業論文発表会にて、聴講者へ分かりやすく内容を伝える。			
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						

授業科目 (科目ID)	情報科学Ⅲ(OT)	担当教員  (実務経験)	柿崎 貴浩  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内精神科デイケアに10年、精神科病院に1年、老健施設に1年勤務
対象年次・学期	4年・通年	担当教員	目黒 文彦
授業形態	講義	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内医療機関にて作業療法士として14年勤務
		担当教員	小熊 真喜子
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院において作業療法士として勤務
		担当教員	和田 英峰
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内医療機関にて作業療法士として8年勤務
		担当教員	池田 保
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として10年勤務
		担当教員	水尻 恵利伽
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として5年勤務
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

授業科目 (科目ID)	統計処理	担当教員  (実務経験)	目黒 文彦  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として14年勤務		
対象年次・学期	4年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	8	時間数	15時間
授業目的	研究論文に示されているデータの意味を理解する。各種尺度の理解、有意差の意味、統計処理を行う意味を理解する。				
到達目標	基本的な統計用語を説明できる。データの種類(尺度)に合わせた検定方法を選択でき、手順に沿った処理が行える。				
テキスト・ 参考図書等	PT・OTのための統計学入門				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	定期試験により評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	得意不得意があると思うが、出来る限り分かりやすい授業展開を心がける。 作業療法の臨床と連携させた授業に努めるので、興味をもって受講し、統計処理の基本を理解すること。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション、代表値・尺度	統計学を学ぶ意味、3つの代表値(平均値、メディアン、モード) データの種類(項目尺度、順位尺度、間隔尺度、比率尺度)		
	2	データの分布	正規分布、分散、標準偏差		
	3	相関がある／ない、信頼性と妥当性	相関とは何か 相関係数について 信頼性と妥当性の意味		
	4	差がある／ない 検定とは何か	差の有意性と検定の意味合い		
	5	検定の使い方①	パラメトリック検定(Z検定、t検定)		
	6	検定の使い方②	ノンパラメトリック検定(マンホイットニー検定)		
	7	検定の使い方③	ノンパラメトリック検定(ウィルコクソン符号順位検定)		
	8	検定の使い方④	χ <sup>2</sup> 乗検定		
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
15					

授業科目 (科目ID)	レクリエーション指導法	担当教員  (実務経験)	山田 里見  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として6年勤務		
対象年次・学期	4年・前期	必修・選択区分	必須	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	8	時間数	15時間
授業目的	レクリエーションの範囲・種類を明確に理解できる。作業療法的手段として利用する目的を理解する。対象者に合わせたレクの企画・実施が出来る。				
到達目標	作業療法におけるレクリエーションに関する知識を有することになる。				
テキスト・ 参考図書等					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	提出物は、課題提出状況および、課題の内容、レク企画の内容、実践方法などを評価します。 その他は、レクの実施状況(準備、実施手順など)を評価します。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	50%			
	その他	50%			
履修上の 留意事項	レクリエーションを企画する中での協調性、提供する相手を想像した企画案を期待します。全員が平等に楽しむための配慮も考え、各個人の特性を生かして企画・役割分担をしてください。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	レクリエーション概論	今後の予定、レクリエーションの基本概念		
	2	レクの企画・準備	大規模集団におけるレクの企画・準備		
	3	レクの企画・準備	大規模集団におけるレクの企画・準備		
	4	レクの企画・準備	大規模集団におけるレクの企画・準備		
	5	レクの企画・準備	大規模集団におけるレクの企画・準備		
	6	レクの企画・準備	大規模集団におけるレクの企画・準備		
	7	レクの実践	大規模集団におけるレクの企画・準備、(作業療法学科合同レクリエーション)		
	8	レクの実践	大規模集団におけるレクの企画・準備、(作業療法学科合同レクリエーション)		
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
15					

授業科目 (科目ID)	レクリエーション指導法	担当教員  (実務経験)	柿崎 貴浩  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内精神科デイケアに10年、精神科病院に1年、老健施設に1年勤務
対象年次・学期	4年・前期	担当教員	目黒 文彦
授業形態	講義	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内医療機関にて作業療法士として14年勤務
		担当教員	小熊 真喜子
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院において作業療法士として勤務
		担当教員	和田 英峰
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内医療機関にて作業療法士として8年勤務
		担当教員	池田 保
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として10年勤務
		担当教員	水尻 恵利伽
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として5年勤務
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

2023年度

専門学校北海道リハビリテーション大学校

作業療法学科

授業科目 (科目ID)	健康増進科学	担当教員  (実務経験)	池田 保  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として10年勤務		
対象年次・学期	4年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	8	時間数	15時間
授業目的	現代社会では健康増進に対する認識が高まり、さらに健康増進法に伴い予防医学的な意味での療法士の介入が大きく期待されている。				
到達目標	本講義では、リハビリテーション上の栄養学の基礎を学ぶとともに、作業療法領域における予防的観点を、身体運動、認知症予防、精神保健領域といった幅広い視点から得られるようにする。				
テキスト・ 参考図書等	PT・OT・STのためのリハビリテーション栄養 第2版 栄養ケアがリハを変える 若林秀隆 医歯薬出版				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	定期試験により評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	健康寿命の延長は社会の要請であり、作業療法士はこれに応えていく役割があります。そのために必要な栄養学の視点と予防的取り組みの視点をこの科目を通じて得てほしいと思います。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	作業療法に必要な栄養学①	オリエンテーション 日本人の食事摂取基準、エネルギー・栄養素の指標		
	2	作業療法に必要な栄養学②	高齢者におけるたんぱく質摂取の重要性		
	3	作業療法に必要な栄養学③	食事の栄養アセスメント		
	4	作業療法に必要な栄養学④	食事バランスガイド		
	5	作業療法予防学①	リハビリテーションにおける予防学の必要性とその意味、疾病予防と介護予防の考え方		
	6	作業療法予防学②	作業療法領域における予防の取り組み①転倒予防		
	7	作業療法予防学③	作業療法領域における予防の取り組み②認知症予防		
	8	作業療法予防学④	作業療法領域における予防の取り組み③精神科領域における予防		
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
15					



2023年度

専門学校北海道リハビリテーション大学校

作業療法学科

授業科目 (科目ID)	救急救命学	担当教員  (実務経験)	三上 剛人  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 吉田学園医療歯科専門学校・救急救命学科にて救急法を教育指導。看護師として救命救急センター勤務経験あり。		
対象年次・学期	4年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	8	時間数	15時間
授業目的	臨床場面でのリスク管理の一環として、救急法について知識・理解を深めると共に、基本的手技も併せて経験する。				
到達目標	救急法について理解する。				
テキスト・参考図書等	配布資料				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	定期試験により評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の留意事項	緊急時対応は突然必要になります。いざという場面で必要になる知識と技術であることを念頭に、授業を受けてください。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	救急法概論	医師法と一般応急手当と基礎知識		
	2	救急法概論	ビデオ、スライド使用		
	3	各パートについて	出血、止血法、傷への対応		
	4	各パートについて	三角巾の扱い方		
	5	各パートについて	凍傷、火傷、咬傷、気道の確保		
	6	各パートについて	頭のケガ、閃電、電撃		
	7	各パートについて	蘇生法(人工呼吸)		
	8	各パートについて	蘇生法(心マッサージ)		
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
15					





授業科目 (科目ID)	作業療法実践論		担当教員  (実務経験)	山田 里見  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として6年勤務	
対象年次・学期	4年・後期		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	8	時間数 15時間
授業目的	作業療法のトピックス領域を学習することにより、作業療法アプローチの理解を深める。講義から実習までの流れは、臨床における治療プログラムの立案から実践へと繋がる広がりをもてるようになる。				
到達目標	授業で取り上げた作業療法のトピックスに関する知識を有するようになる。				
テキスト・ 参考図書等	人間作業モデル:理論と応用(協同医書出版)				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	講義内容に関するまとめを提出課題とし、その内容によって評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	100%			
その他	%				
履修上の 留意事項	卒業後の臨床における治療概念を知ることで、プログラム立案に繋がる知見を紹介します。臨床活動に入る直前のモチベーション向上にも繋げてください。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	身体障害領域における実践①	トピックス治療概念の講義と実習を合わせて行う。		
	2	身体障害領域における実践①	トピックス治療概念の講義と実習を合わせて行う。		
	3	身体障害領域における実践②	トピックス治療概念の講義と実習を合わせて行う。		
	4	身体障害領域における実践②	トピックス治療概念の講義と実習を合わせて行う。		
	5	精神科領域における実践①	トピックス治療概念の講義を行う。		
	6	精神科領域における実践①	トピックス治療概念の講義を行う。		
	7	精神科領域における実践②	トピックス治療概念の講義を行う。		
	8	精神科領域における実践②	トピックス治療概念の講義を行う。		
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
15					



授業科目 (科目ID)	作業療法研究法	担当教員  (実務経験)	池田 保  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内の病院に10年勤務。社会福祉学修士。		
対象年次・学期	3年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	8	時間数	15時間
授業目的	実習担当ケースをまとめるにあたり必要な事項を学んでいく。自らが重点を置いたテーマを明らかにし、後向き研究を通じたアプローチの有効性・妥当性を検討していく。				
到達目標	研究におけるエビデンスの重要性を知るとともに、量的・質的研究の各々の長所・短所を学ぶ。卒業論文の内容が効果的に伝えられるように基本的事項を学ぶ。				
テキスト・ 参考図書等	標準作業療法学 作業療法研究法				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	定期試験により評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	研究活動に際しての心構えとその段取りについて卒後の研究活動に対応できるようになる。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	研究とは①	研究の意味と意義、研究の進め方、本学における卒業研究の概要について学ぶ		
	2	研究とは②	作業療法における臨床実践に関する概念、研究疑問の立て方、研究デザインについて学ぶ		
	3	文献レビューと文献研究	文献の必要性、文献の検索・整理について学ぶ		
	4	研究計画書と研究倫理	研究計画書の書き方と研究倫理について学ぶ		
	5	ケーススタディについて	事例研究とシングルシステムデザイン(SDS)について理解する		
	6	量的研究について	量的研究の意義や対象、方法、変数、尺度について理解する		
	7	質的研究について	質的研究の意義や対象、方法、限界などを理解する		
	8	プレゼンの仕方	論文投稿の方法と流れ、学会発表(口述とポスター)発表について理解する		
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
15					



授業科目 (科目ID)	作業療法特論Ⅱ	担当教員  (実務経験)	柿崎 貴浩  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内精神科デイケアに10年、精神科病院に1年、老健施設に1年勤務
対象年次・学期	4年・通年	担当教員	目黒 文彦
授業形態	演習	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内医療機関にて作業療法士として14年勤務
		担当教員  (実務経験)	和田 英峰  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内医療機関にて作業療法士として8年勤務
		担当教員  (実務経験)	小熊 真喜子  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として勤務
		担当教員  (実務経験)	池田 保  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として10年勤務
		担当教員  (実務経験)	水尻 恵利伽  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として5年勤務
		担当教員  (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員  (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員  (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員  (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>



授業科目 (科目ID)	作業療法特論Ⅲ	担当教員  (実務経験)	柿崎 貴浩  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内精神科デイケアに10年、精神科病院に1年、老健施設に1年勤務
対象年次・学期	4年・前期	担当教員	目黒 文彦
授業形態	演習	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内医療機関にて作業療法士として14年勤務
		担当教員	小熊 真喜子
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院において作業療法士として勤務
		担当教員	和田 英峰
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内医療機関にて作業療法士として8年勤務
		担当教員	池田 保
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として10年勤務
		担当教員	水尻 恵利伽
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として5年勤務
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>





授業科目 (科目ID)	作業療法特論Ⅳ	担当教員  (実務経験)	柿崎 貴浩  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内精神科デイケアに10年、精神科病院に1年、老健施設に1年勤務
対象年次・学期	4年・後期	担当教員	和田 英峰
授業形態	演習	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として8年勤務
		担当教員  (実務経験)	池田 保  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として10年勤務
		担当教員  (実務経験)	水尻 恵利伽  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内病院にて作業療法士として5年勤務
		担当教員  (実務経験)	小熊 真喜子  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として勤務
		担当教員  (実務経験)	山田 里見  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として6年勤務
		担当教員  (実務経験)	飯島 治之  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 医学博士を有し解剖学講師として10年以上従事
		担当教員  (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員  (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員  (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>



授業科目 (科目ID)	臨床実習Ⅲ	担当教員  (実務経験)	柿崎 貴浩  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内精神科デイケアに10年、精神科病院に1年、老健施設に1年勤務
対象年次・学期	4年・前期	担当教員	和田 英峰
授業形態	実習	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内病院にて作業療法士として8年勤務
		担当教員	小熊 真喜子
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として勤務
		担当教員	目黒 文彦
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内医療機関にて作業療法士として14年勤務
		担当教員	水尻 恵利伽
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 市内病院・介護保険施設にて作業療法士として5年勤務
		担当教員	池田 保
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として10年勤務
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

授業科目 (科目ID)	地域作業療法学Ⅱ		担当教員	和田 英峰		
			(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	道内医療機関にて作業療法士として8年勤務	
対象年次・学期	4年・後期		必修・選択区分	必須	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	生活行為向上マネジメントを用いた演習、作業療法士としての行動を考える。また、社会保障の具体的な理解と介護保険における作業療法士の役割を考える。また、PBLをベースにした学習により臨床思考を深める。					
到達目標	地域作業療法における社会保障制度と、生活行為向上マネジメントに関する知識を有することになる。					
テキスト・ 参考図書等	事例で学ぶ 生活行為向上マネジメント(第2版)					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	100%	定期試験にて評定する			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	%				
履修上の 留意事項	地域の中で医療従事者である作業療法士はどのような働きができるかについて、講義・演習形式で進める中で発問の機会を設けます。特に、演習形式では自らの考えを発信するように努めてください。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	地域作業療法学総論	介護保険制度のサービスについて理解する。			
	2	介護保険制度の実際②	リハビリテーション実施計画書を作る①			
	3	介護保険制度の実際③	リハビリテーション実施計画書を作る②			
	4	介護保険制度の実際④	リハビリテーション実施計画書を作る③			
	5	地域包括ケアシステム①	実際の地域運営状況の紹介			
	6	地域包括ケアシステム②	実際の地域運営状況の紹介			
	7	地域リハビリテーションの実際実際①	訪問リハビリテーションについて(実践経験に基づく講義)			
	8	地域リハビリテーションの実際実際②	訪問リハビリテーションについて(実践経験に基づく講義)			
	9	地域リハビリテーションの実際実際③	介護老人保健施設の作業療法について			
	10	MTDLP演習課題①	地域で問題を抱える模擬症例から作業療法士としての役割を見つける。また、社会資源と生活の関係性について理解する。			
	11	MTDLP演習課題②	地域で問題を抱える模擬症例から作業療法士としての役割を見つける。また、社会資源と生活の関係性について理解する。			
	12	MTDLP演習課題③	地域で問題を抱える模擬症例から作業療法士としての役割を見つける。また、社会資源と生活の関係性について理解する。			
	13	MTDLP演習課題④	地域で問題を抱える模擬症例から作業療法士としての役割を見つける。また、社会資源と生活の関係性について理解する。			
	14	MTDLP演習課題⑤	地域で問題を抱える模擬症例から作業療法士としての役割を見つける。また、社会資源と生活の関係性について理解する。			
15	MTDLP演習課題⑥	地域で問題を抱える模擬症例から作業療法士としての役割を見つける。また、社会資源と生活の関係性について理解する。				

授業科目 (科目ID)	地域作業療法学Ⅱ	担当教員  (実務経験)	水尻 恵利伽  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院・介護保険施設において5年作業療法士として勤務
対象年次・学期	4年・後期	担当教員	佐々木喜之
授業形態	講義	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院・訪問看護ステーションにおいて14年作業療法士として勤務
		担当教員	樫山晴香
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院において9年作業療法士として勤務
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

授業科目 (科目ID)	作業療法特論 I		担当教員  (実務経験)	山田 里見  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 道内病院にて作業療法士として6年勤務	
対象年次・学期	4年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	演習		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	国家試験に向けた共通基礎科目の復習を通して学習力を高めつつ知識・理解を深める。				
到達目標	国家試験水準の解剖学、運動学、生理学3科目の基礎的問題に答えられる。				
テキスト・ 参考図書等	これまでの各領域で使用した教科書				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	定期試験(国家試験対策分野について)		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	国家試験に出題される共通基礎科目の復習をし、臨床実習・国家試験に向けた学習力を養い4年生につなげていく。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	国家試験対策(1)	模擬試験		
	2	国家試験対策(1)	模擬試験		
	3	国家試験対策(2)	共通基礎科目の復習と理解		
	4	国家試験対策(2)	共通基礎科目の復習と理解		
	5	国家試験対策(2)	共通基礎科目の復習と理解		
	6	国家試験対策(2)	共通基礎科目の復習と理解		
	7	国家試験対策(2)	共通基礎科目の復習と理解		
	8	国家試験対策(2)	共通基礎科目の復習と理解		
	9	国家試験対策(1)	模擬試験		
	10	国家試験対策(2)	共通基礎科目の復習と理解		
	11	国家試験対策(2)	共通基礎科目の復習と理解		
	12	国家試験対策(2)	共通基礎科目の復習と理解		
	13	国家試験対策(2)	共通基礎科目の復習と理解		
	14	国家試験対策(2)	共通基礎科目の復習と理解		
15	国家試験対策(2)	共通基礎科目の復習と理解			

